

エジプト・日本学術交流シンポジウム

死者の追悼と文明の岐路 二〇一一年

2011-Commemorating the Dead in a Time of Global Crisis

二〇一一年九月二十三日(金・祝) 一〇:三〇—一八:三〇

会場 東京大学本郷キャンパス 法文二号館 一番大教室

言語 日本語・英語 同時通訳付き(先着順 同時通訳機には台数に限りがあります)

一般公開・入場無料

With simultaneous interpretation (on a first-come-first-served basis)

Open to the public, Free admittance

死者の追悼と文明の岐路：2011

2011年は、中東における激動によって幕を開けた。その渦中において、エジプトはきわめて劇的な社会変革を成し遂げつつある。この最中、3月11日に日本を東日本大震災が襲った。とくに地震後に襲来した津波は夥しい数の死者をもたらした。原子力発電所事故による被害も、今なお深刻さを増しつつある。本シンポジウムは2011年、「革命」と大震災というアクチュアルな課題に直面しているエジプトと日本の状況を、グローバルな視座から併せて論じようとする野心的な試みである。

GCOE「死生学の展開と組織化」は、2009年にエジプトのカイロとアレクサンドリアにおいて、「死生をめぐる対話——エジプトからの眺望——」と題する大規模な国際シンポジウムを開催し、大きな成功を収めた。今回はその成果や、そこで明確化された課題をも踏まえつつ、日本へ場を移して死生学の観点から討議を行う。また、エジプトから「革命」の実態を知悉し、それを記録する複数のプロジェクトを主導する研究者を招聘し、さらに東北日本からも現場を良く知る研究者を招く予定である。加えて、広島大学平和構築連携融合事業 HiPeC とも共催することによって、様々な側面から議論を深めたい。

プログラム

第一部 基調講演 10:30-12:45

司会 柳橋博之 Hiroyuki Yanagihashi (東京大学)

開会挨拶 島藺進 Susumu Shimazono (東京大学)

駐日エジプト・アラブ共和国大使挨拶

基調講演 I

イツズ・アッディーン・シヨクリー・フィシエール

Ezzedine Choukri Fishere (前エジプト高等文化評議会議長、作家)

"Remembering, Recognizing and Recovering:

Helping Arabs Out of Victimhood"

(「記憶し、認識し、回復する

—アラブを犠牲者の立場から救済する」)

基調講演 II

榊山敏一 Koichi Kabayama (印刷博物館館長、東京大学名誉教授)

「文明の死と再生—黒死病とリスボン大震災のあとさき」

コメント 大稔哲也 Tetsuya Ohtoshi (東京大学)

第二部 記録と記憶 14:00-15:10

司会 鈴木泉 Izumi Suzuki (東京大学)

発表 I

原武史 Takeshi Hara (明治学院大学)

「記憶される震災、忘却される震災—関東大震災と皇室」

発表 II

ハレード・アザブ Khaled Azab (アレクサンドリア図書館)

"Memory of Modern Egypt and the Revolution Documentation"

(「近代エジプトの記憶と革命の記録編纂」)

コメント 佐藤健二 Kenji Sato (東京大学)

第三部 弔いと記憶 15:30-16:40

司会 秋山聡 Akira Akiyama (東京大学)

発表 III

鈴木岩弓 Iwayumi Suzuki (東北大学)

「東日本大震災にみる土葬の復活—あり得べき死者の姿」

発表 IV

ロワイ・マフムード Louay Mahmoud (アレクサンドリア図書館)

"The Relationship with the Dead Saints, or Revolution as an Option:

the Traditional Egyptian Means of Defeating Evil"

(「死せる聖人とのかわり、あるいはその代替としての革命

悪を打ち負かすエジプトの伝統的手段」)

コメント マグディー・ギルギス Magdi Guirguis

(カフル・アッシェイフ大学)

第四部 全体討議 17:10-18:30

司会 大稔哲也 Tetsuya Ohtoshi、ハレード・アザブ Khaled Azab

総合コメント 1 外川昌彦 Masahiko Togawa (広島大学)

総合コメント 2 池澤慶 Masaru Ikezawa (東京大学)

開会挨拶 大稔哲也 Tetsuya Ohtoshi